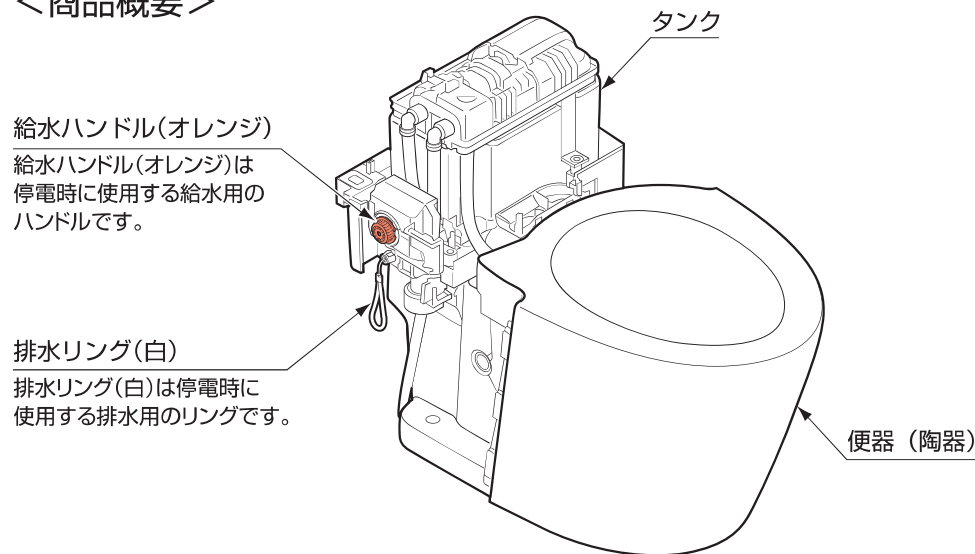
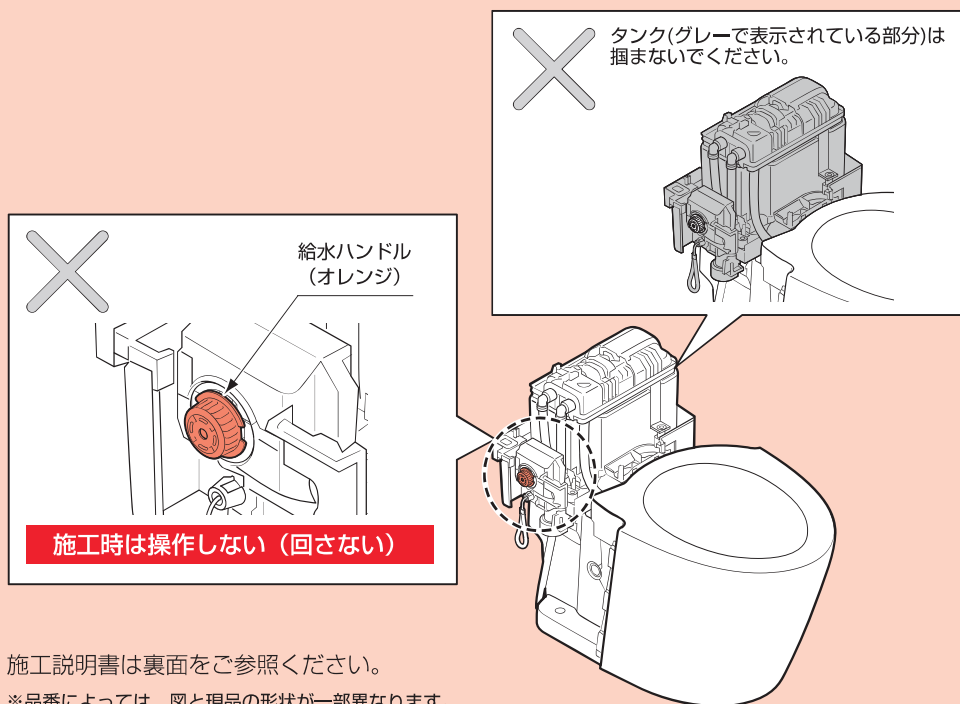


床置床排水大便器
品番：CS877系

<商品概要>



施工時は注意してください



施工説明書は裏面をご参照ください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

◆本紙は床排水、排水心282～540 mm
(BM：ヒーターなし、BHM：ヒーター付)の施工情報が確認できます。
□で表示している箇所は、新規性があることを示しています。

安全に関するご注意 2

取り付け前のご注意 2～4

同梱部品 4
別売品・オプション品 5
各部のなまえ 5
施工手順 6
取付方法 6～14

取り付け後の確認 15

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめ
ご了承ください。

はじめに確認

取り付け前に確認

取り付ける時に確認

取り付け後に確認

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 注意 誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⊘ 禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「禁止」を示します。

❗ 必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注意

便器に強い力や衝撃を与えない

便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす、火災が発生して家財などを燃やすなど、財産損害発生のおそれがあります。

給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない

給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない

止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

浴室など湿気の多い場所に設置しない

火災、感電、発熱、ショートの原因になります。

設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

正常な取り付けができなくなる可能性があります。

設置工事は、この説明書に従って確実に行う

故障や水漏れの原因になります。

取り付け前のご注意

<給水配管の確認>

- 施工前には、埋設されている給水配管などの位置を確認してください。
(破損するおそれがあります)

<必要な給水圧力について>

- 給水圧力は最低必要水圧 0.05MPa(10L/分 流動時)、最高水圧 0.75MPa(静止時)です。
この圧力範囲でご使用ください。

<防火区画の対応について>

- 便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認いただき、その指示に従ってください。
防火区画対応が必要だと指示された場合は、別売品の大便器背面カバー(防火区画対応)床排水用(品番:HM877)をご購入ください。

<取り付けスペース、取付面について>

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
(ドアが閉まらないおそれがあります)
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- 棚、収納キャビネットは、後ろ壁に床面から1401mm以上、上に取り付けてください。
(1400mm以下に棚、収納キャビネットを取り付けた場合は、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります)
- 取付面がコンクリート、モルタルの場合は、樹脂プラグ「HH04060(Φ8、10個1組)」を別途手配してください。
- 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。

<メタルマークについて>

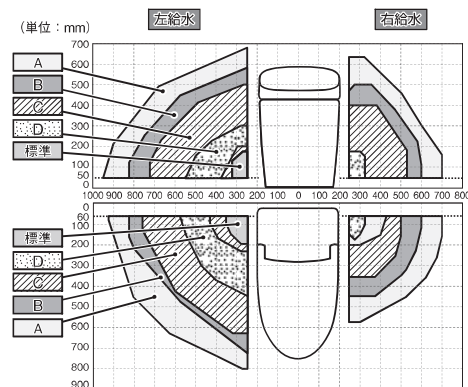
- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

取り付け前のご注意

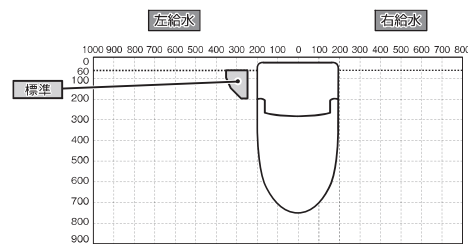
<給水管・排水管について>

- 施工前に給水管取り出し位置が下記「給水位置」に含まれていることを確認してください。
(所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります)

ヒーターなしの便器を取り付ける場合



ヒーター付便器を取り付ける場合



止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(上図参照)
標準	—	—	標準給水ホースでの止水栓取付範囲

止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(左図参照)
標準	—	—	標準給水ホースでの止水栓取付範囲
A	HM915	600 mm	Aの給水ホースでの止水栓取付範囲
B	HM914	525 mm	Bの給水ホースでの止水栓取付範囲
C	HM913	450 mm	Cの給水ホースでの止水栓取付範囲
D	HM912	250 mm	Dの給水ホースでの止水栓取付範囲

- 給水ホースの到達範囲を示したものです。
ホース長さ、給水位置によってはホースが大きくなる場合があります。
- 止水栓取付位置 A, B, C, D については、HM915, HM914, HM913, HM912を別途手配し、標準給水ホースに接続して取り付けください。

⚠ 注意

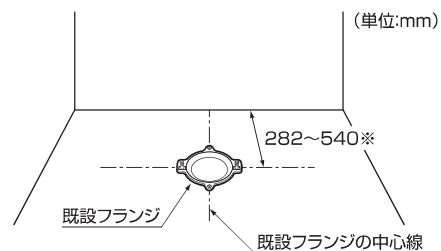
⊘ 禁止 給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。

❗ 必ず実行 ヒーター付便器、水抜き併用方式をお使いのお客様は、ホース内の水抜きができるような
勾配を確保して取り付ける
水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。

※ヒーター付便器(水抜き方式)の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
また、給水ホースHM915, HM914, HM913, HM912は使用しないでください。ホース内部の凍結のおそれがあります。
※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。
給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

- 給水管が床面・壁面から8mm以上埋没する場合は、市販の持ち出しソケットなどを使用し、所定の立ち上げ位置に調整してください。

- 排水口位置が所定の範囲であることを確認してください。
(所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります)

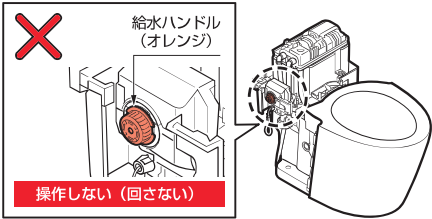


※431~540 mmの場合は、便器の前出しが必要です。

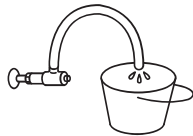
取り付け前のご注意

<施工時の注意事項について>

- 給水ハンドルは停電時に使用する給水用のハンドルです。施工時は操作しないでください。
(試運転時、便器に水が流れ続ける原因となります)



- 商品を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。



<通水のタイミングについて>

- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終わってから行ってください。

<ウォシュレットについて>

- 電源は交流 100 V(50/60 Hz) です。定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体同梱の施工説明書をご確認ください。

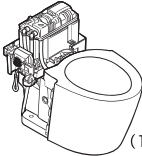
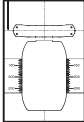
<ヒーター付便器（水抜き方式）の商品について>

- 便器のヒーター用の電源コードの長さは、約 1.1 m です。
コンセントは便器のヒーター用の電源コードが取り付けられる位置に設置しているか確認してください。
- 給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。

同梱部品

部品があるか、下記を参照して確認してください。
※品番によっては図と現品の形状が異なります。

本商品は、便器の前固定の施工はありません。

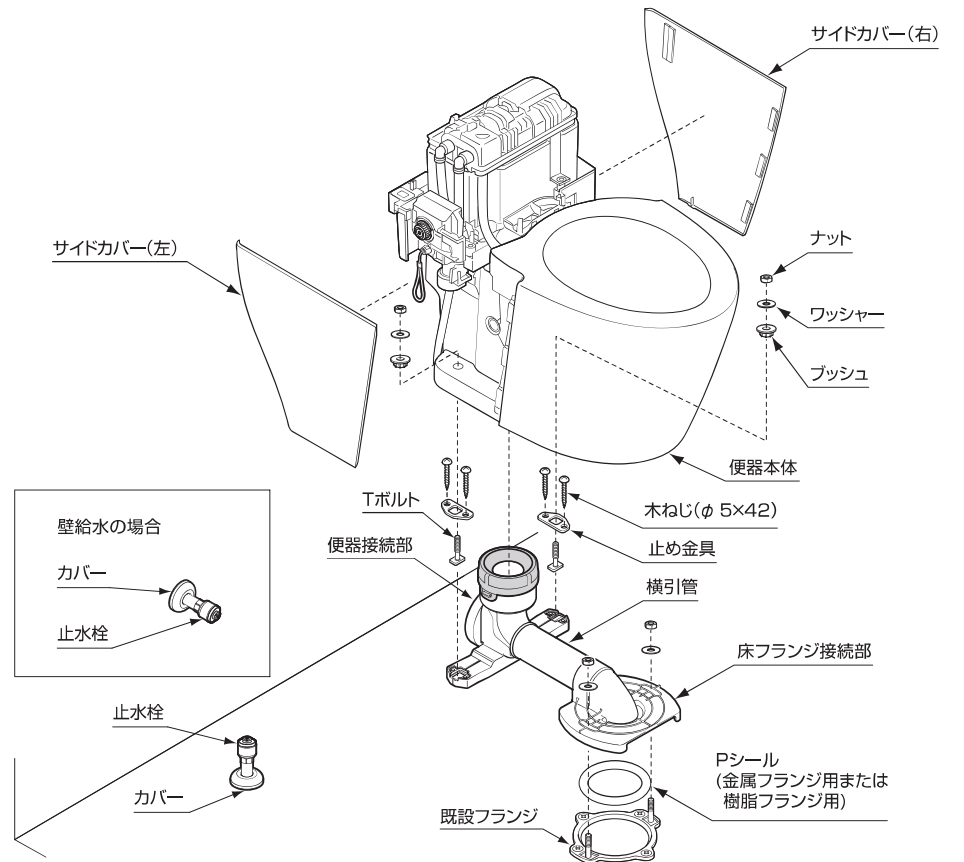
便器本体		サイドカバー		Pシール	
 (1個)	 便器ヒーター用プラグ ※ヒーター付便器の場合	 サイドカバー(左) (1個)	 サイドカバー(右) (1個)	 金属フランジ用 (1個)	 樹脂フランジ用 (1個)
給水金具		排水アジャスター			
 止水栓 (1個)	 カバー (1個)	※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。 ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。			
		 便器接続部(1個)	 横引管(1個)	 床フランジ接続部(1個)	
固定金具類			その他		
 Tボルト(4本)	 止め金具(2個)	 木ねじ (排水アジャスター用) (φ 5×42・4本)	 施工説明書 (1部)	 説明書 (1部)	 位置決め シート (1部)
 ナット(4個)	 ワッシャー(4個)	 プッシュ (2個)			

別売品・オプション品

必要に応じて、準備してください。

名称	品番	準備が必要な場合
大便器背面カバー(防火区画対応)床排水用	HM877	所轄消防署より防火区画対応が必要だと指示された場合
給水延長用フレキホース(600 mm)	HM915	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
給水延長用フレキホース(525 mm)	HM914	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
給水延長用フレキホース(450 mm)	HM913	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
給水延長用フレキホース(250 mm)	HM912	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
床排水フランジ(100塩ビ管用)	HP430-1	既設の床フランジが使用できないかつ 排水管が塩ビ管で直径が100 mmの場合
床排水フランジ(75塩ビ管用)	HP430-7	既設の床フランジが使用できないかつ 排水管が塩ビ管で直径が75 mmの場合
床排水フランジ(75鉛管用)	T53W75	既設の床フランジが使用できないかつ 排水管が鉛管で直径が75 mmの場合
床排水フランジ(100鉛管用)	T53WR100	既設の床フランジが使用できないかつ 排水管が鉛管で直径が100 mmの場合

各部のなまえ

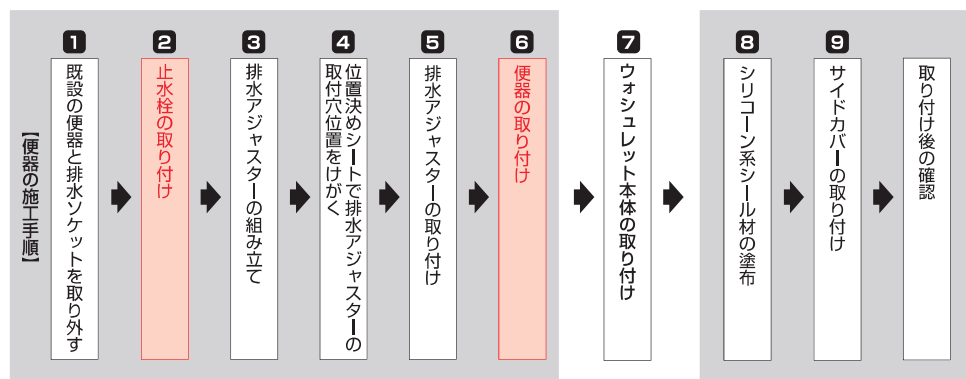


取り付ける時に確認

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

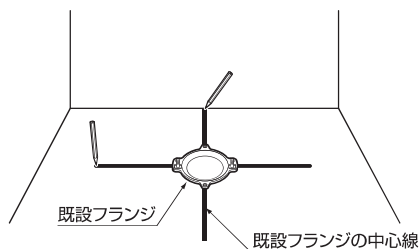
■ は本紙、□ はウォシュレットの施工説明書をご参照ください。



取付方法（この説明書は床給水のイラストで説明しています）

1 既設の便器と排水ソケットを取り外す

- 1 既設の便器と排水ソケットを取り外す。
- 2 既設フランジに取り付いているPシールの接着剤を全て取り除く。
- 3 既設フランジの中心線を床にけがく。



取付方法（この説明書は床給水のイラストで説明しています）

2 止水栓の取り付け

止水栓の角度を確認して取り付けてください

床給水の場合	壁給水の場合
1 止水栓を 30°～60° の範囲内に取り付ける。 ※ヒーター付便器（水抜き方式）の場合、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。 ※上記の角度の範囲以外で止水栓を取り付けた場合、給水ホースのキンクや、サイドカバーの外れ、浮き、変形などのおそれがあります。 ※給水管取り出し位置が「給水位置」A B C D の場合、給水位置に合わせて止水栓の取り付け位置と角度を調整してください。	1 止水栓を 60°～90° の範囲内に取り付ける。

⚠ 注意



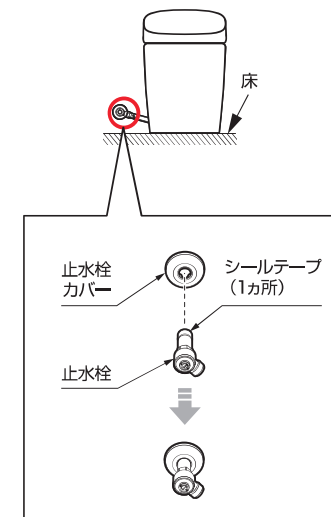
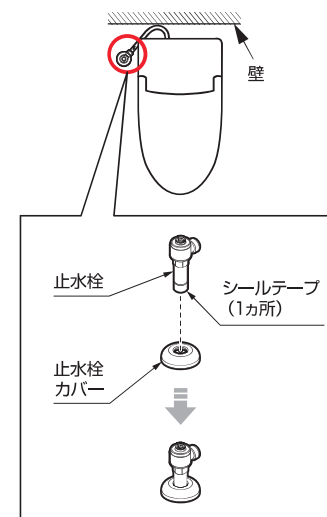
必ず実行

止水栓を指定の角度の範囲で取り付ける

誤った角度に取り付けると洗浄不良や水漏れのおそれがあります。

試運転後は接続部において水漏れしていないか確認する

取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



・ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。
※取り付け時、止水栓の向きに気をつけてください。

取り付ける時に確認

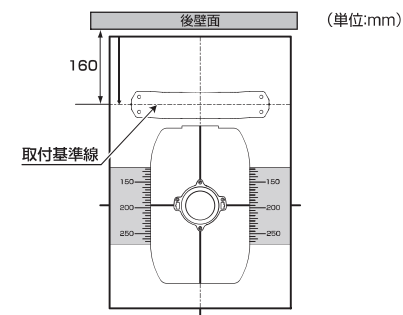
取付方法 (この説明書は床給水のイラストで説明しています)

3 排水アジャスターの組み立て

① 下記の排水心に合わせて、位置決めシートを置く。

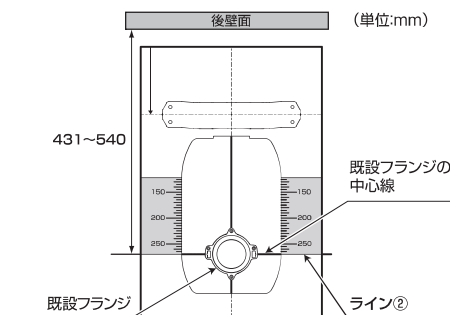
<排水心282~430 mmの場合>

後壁面から160 mmの位置に位置決めシートの取付基準線をあわせて置く。
※寸法出しは後壁から行ってください。
(幅木からではありません)

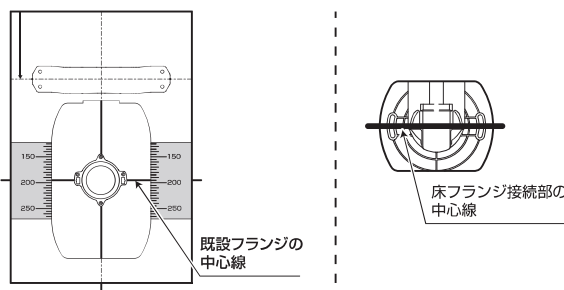


<排水心431~540 mmの場合>

既設フランジの中心線に位置決めシートのライン②をあわせて置く。

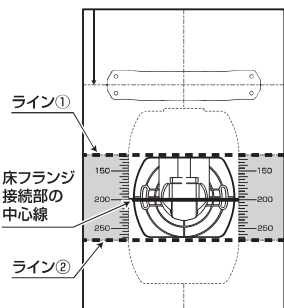


② 既設フランジと床フランジ接続部の中心線が合うように、床フランジ接続部を仮置きする。



③ 横引管の取付方法が床フランジ接続部の中心線の位置で異なるため、下図に従って床フランジ接続部の中心線の位置を確認する。

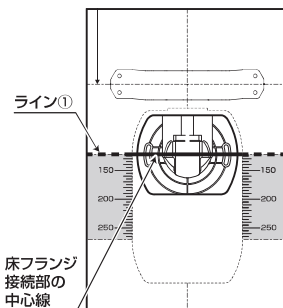
<排水心283~430 mmの場合>
床フランジ接続部の中心線がライン①と②の間にある



横引管の切断が必要

⇒ 3-4

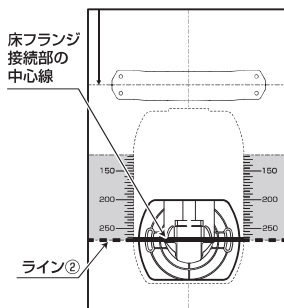
<排水心282 mmの場合>
床フランジ接続部の中心線がライン①と一致する



横引管不要

⇒ 3-5

<排水心431~540 mmの場合>
床フランジ接続部の中心線がライン②と一致する



横引管の切断が不要

⇒ 3-5

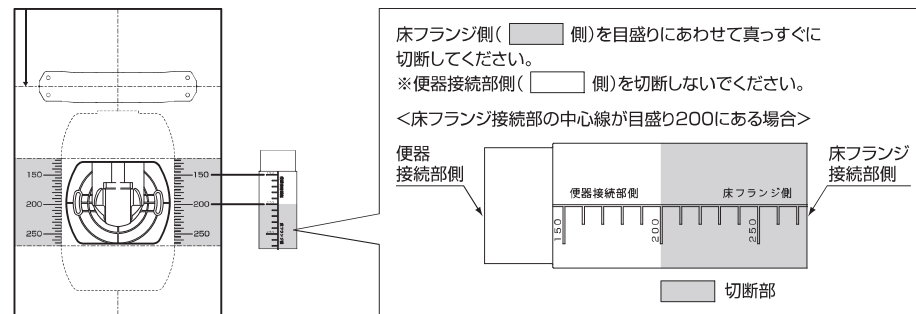
取付方法 (この説明書は床給水のイラストで説明しています)

3 排水アジャスターの組み立て

<排水心283~430 mmの場合> 横引管の切断が必要

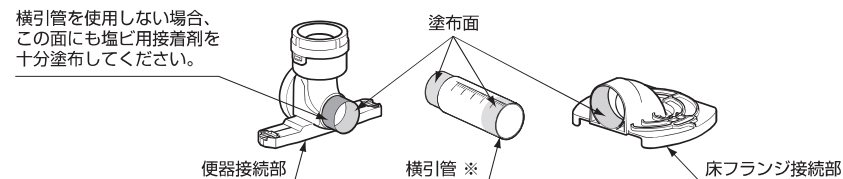
④ 位置決めシートと同じ目盛り位置で横引管を真っすぐに切断する。

※切断後、端部のバリを完全にに取り除いてください。

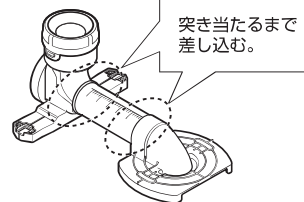


⑤ 塩ビ用接着剤を全周に十分塗布し、各中心をあわせるように排水アジャスターを組み立てる。

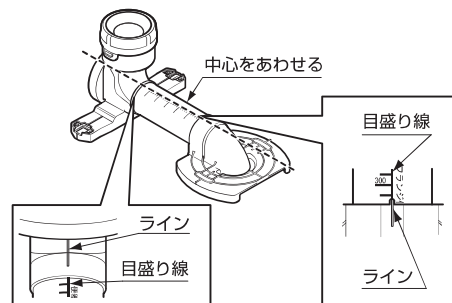
※排水心282 mmの場合、横引管は不要です。



⑥ 突き当たるまで差し込む。



⑦ 各ラインを目盛り線と合わせる。



⚠ 注意

横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などを
めらす財産損害発生の原因になります。

必ず実行

床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などを
めらす財産損害発生の原因になります。

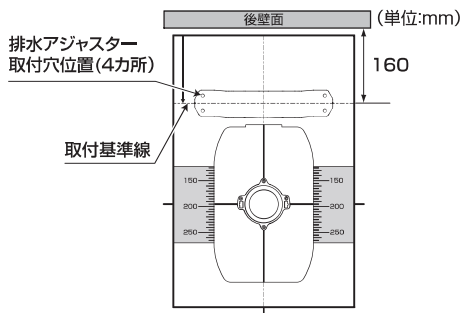
取り付ける時に確認

取付方法 (この説明書は床給水のイラストで説明しています)

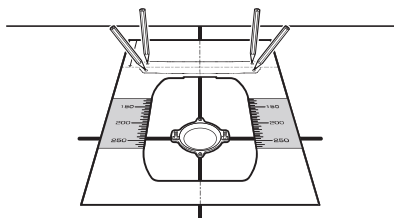
4 位置決めシートで排水アジャスターの取付穴位置をけがく

●排水心282~430 mmの場合

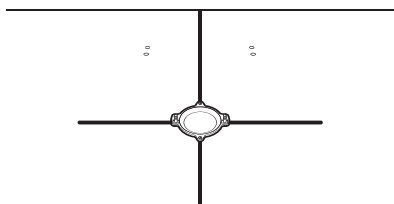
- ① 後壁面から160 mmの位置に位置決めシートの取付基準線をあわせて置く。



- ② 位置決めシートを所定の位置に置き、排水アジャスター取付穴位置 (4カ所) をけがく。

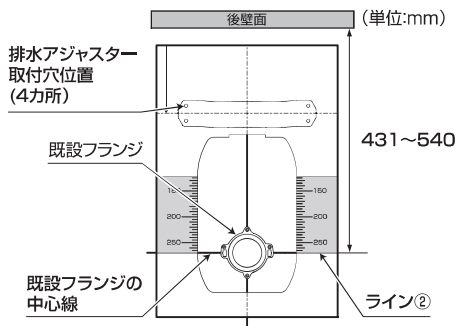


- ③ けがいた取付穴位置にφ 3程度の下穴をあける。
※φ 3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

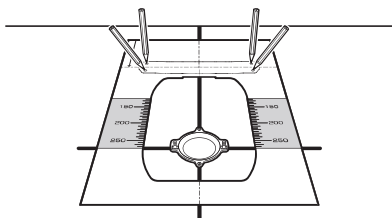


●排水心431~540 mmの場合

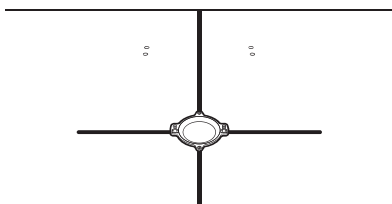
- ① 既設フランジの中心線に位置決めシートのライン②をあわせて置く。



- ② 位置決めシートを所定の位置に置き、排水アジャスター取付穴位置 (4カ所) をけがく。



- ③ けがいた取付穴位置にφ 3程度の下穴をあける。
※φ 3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

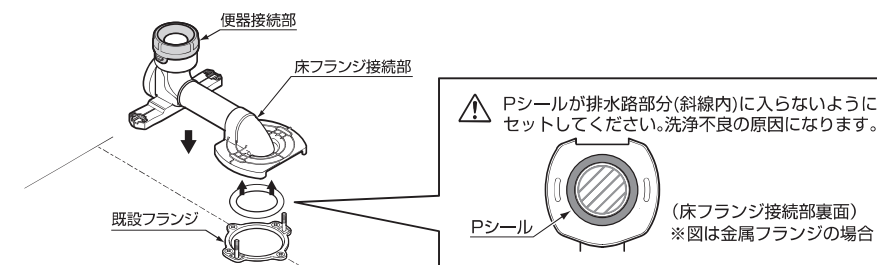


取付方法 (この説明書は床給水のイラストで説明しています)

5 排水アジャスターの取り付け

- ① <樹脂フランジの場合> Pシール(樹脂フランジ用)をフランジにセットする。
<金属フランジの場合> Pシール(金属フランジ用)を床フランジ接続部にセットする。

気温が下がるとPシールが固くなることがあります。
このときは、Pシールをあたたためて柔らかくしてからご使用ください。



注意

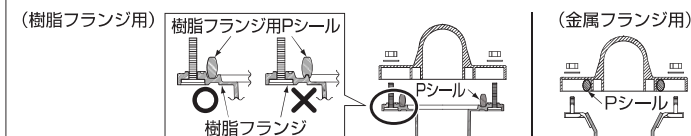
Pシール取り扱い上の注意

- 既設の床フランジのタイプにあわせ、必ず同梱 (再取り付け時は同品番) の金属フランジ用Pシール (補修品番: TH633) または、樹脂フランジ用Pシール (補修品番: TH633-3) を使用する
- 既設のフランジタイプによって、Pシールのサイズと取付方法が異なるので、注意する

Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

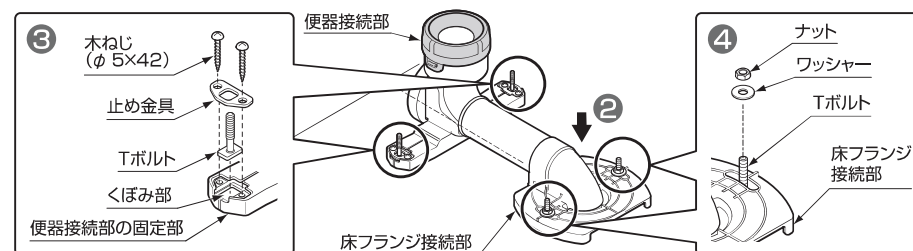


必ず実行



- Pシールは溝にきちんと取り付けてください。
- 取り付けた便器を取り外したり動かした場合は、新しいPシールを使用する
新しいPシールを使用しない場合、漏水するおそれがあります。

- ② 床フランジ接続部を床フランジに押し付ける。
- ③ 便器接続部の固定部 (2カ所) に、Tボルト、止め金具をセットし、便器接続部を木ねじで床 (4カ所) に固定する。
※便器接続部のくぼみ部に、Tボルトの頭部にはめ込んでください。
便器の取り付け時にTボルトが干渉するおそれがあります。
- ④ 床フランジ接続部を、ワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。



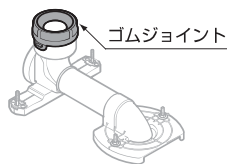
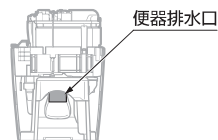
取付方法 (この説明書は床給水のイラストで説明しています)

＜別売品の大便器背面カバー(防火区画対応)床排水用を取り付ける場合＞
以降の取付方法は、大便器背面カバー(防火区画対応)床排水用同梱の施工説明書に従って
取り付けてください。

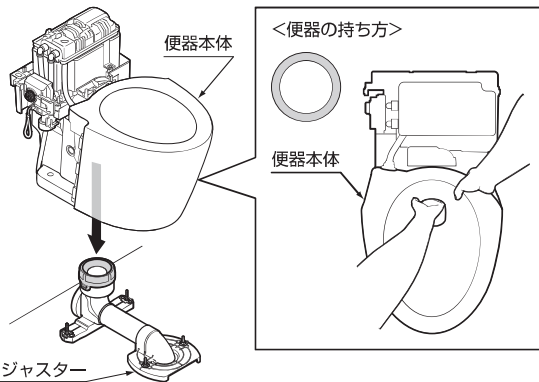
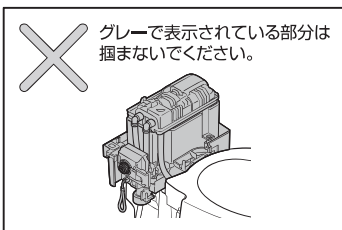
6 便器の取り付け

- ① 便器排水口および排水アジャスターのゴムジョイントのごみや汚れを取り除く。

＜後ろから見た図＞

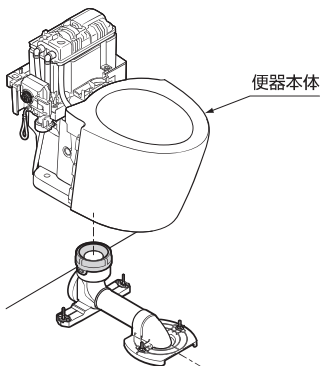


- ② 図示の通りに便器を持つ。



- ③ 便器排水口を排水アジャスターに差し込む。

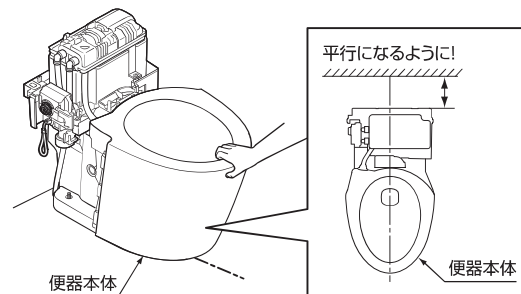
- ・目安として壁から10～15 mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
- ※壁に傷がつかないように差し込んでください。
- ・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。



取付方法 (この説明書は床給水のイラストで説明しています)

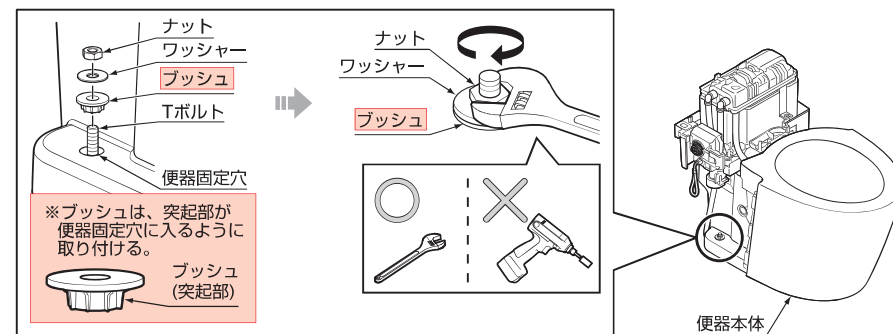
6 便器の取り付け

- ④ 便器本体が壁に平行になるように調整する。



- ⑤ Tボルト (左右2カ所) に**ブッシュ**、ワッシャー、ナットの順で取り付け、
便器がガタつかないようにするまで締め付ける。

締め付け後に手で回して緩まないことを確認する。
※ナットを締めすぎて便器を割らないように注意してください。



7 ウォシュレット本体の取り付け

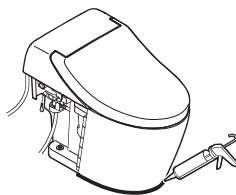
- ① ウォシュレット本体の施工説明書に従い、ウォシュレット本体を取り付ける。

取付方法 (この説明書は床給水のイラストで説明しています)

8 シリコン系シール材の塗布

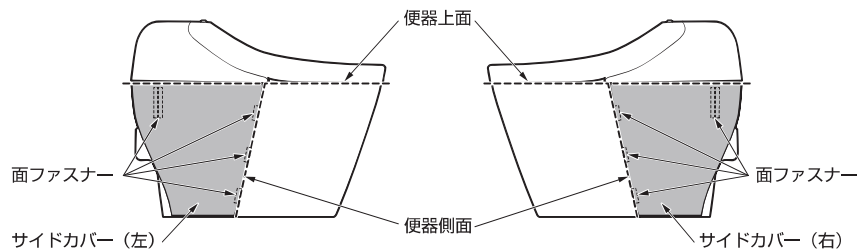
① シリコン系シール材を塗布する。

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材を塗布することをおすすめいたします。



9 サイドカバーの取り付け

① 便器上面と便器側面に合わせて、便器とのすき間が目立たないようにサイドカバーを取り付ける。



面ファスナー部(4ヵ所)をしっかり押さえて、サイドカバー(左)とサイドカバー(右) が外れないことを確認してください。

※給水ホースは、サイドカバー(左)に干渉しないように取り回してください。

給水ホースを取り回すときは、給水ホースがキンクしないように注意してください。

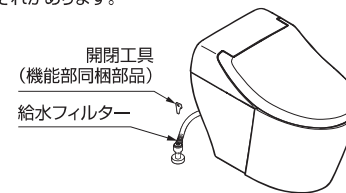
取り付け後の確認

<接続部の水漏れ確認>

- 試運転後はすべての接続部において水漏れていないか確認してください。
取り付けが不十分な場合、水漏れて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

<止水栓の給水フィルター掃除>

- 試運転後、必ず止水栓を閉じて給水フィルターを「掃除」してください。
※機能部に付属の開閉工具で給水フィルターを外して、掃除してください。
※フィルターの掃除後、忘れず止水栓を開けてください。



<便器の汚れがないか確認>

- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。
陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、当社商品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)が付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。
便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

<サイドカバーの取り付け確認>

- 便器とサイドカバーの間に目立ったすき間がないこと、浮き上がりがないことを確認してください。
すき間や浮き上がりがある場合、便器からサイドカバーが外れるおそれがあります。